

公益第8期 事業計画

(対象期間 平成28年10月1日～平成29年9月30日)

はじめに

公益第8期は前期に引続き、自然学校や里山自然教室などの各公益事業の着実な実施と円滑な法人事業運営に努める。

I 公益事業

公1. こじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金事業

(1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

- ・第16回助成事業応募受付開始をホームページや新聞社をはじめ公的窓口へニュースリリースを行ない告知する。
- ・応募期間は平成28年11月1日(火)から平成29年1月20日(金)までとする。
- ・助成金の総額は約750万円(1件あたり最高50万円、15件)とする。
- ・助成先の決定は平成29年3月10日(金)までに行う。
- ・助成金交付式は平成29年3月25日(土)に行う。

(2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

今期は特別助成枠は設けない。

(3) 第14回こじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会

期 日 平成28年11月26日(土)

会 場 朝日酒造株式会社2階会議室

内 容 第14回助成事業期間満了を受けて、団体・個人による公開成果発表会及び交流会

公2. 越路原丘陵(巴ヶ丘及び朝日城の森周辺地)において、動植物の長期的な生態系モニタリング調査(モニタリングサイト1000)をおこない、自然環境の変化等に関わる情報を社会へ提供するとともに自然保護・保全につなげる事業

朝日城の森に隣接する里地里山を対象に、生態系の変化を定量的かつ長期的にモニタリングする。調査は(公財)日本自然保護協会保全研究部 モニタリングサイト1000里地調査に準拠して鳥類および植物調査を継続する。

公3. 渋海川をモデルにした河川環境保全のあり方を考える調査研究事業

渋海川の生きもの調査研究報告書を活用した講座を開催する。

公4. 大人から子供までを対象に、豊かな自然体験の機会を提供する水と緑の自然学校を開催し、環境教育の普及振興につなげる事業

水と緑を尊ぶ心を育てるため水と緑の自然学校を子どもから大人までを対象に行う。

- (1) 酒林づくり体験 (平成28年10月8日、土曜日)
- (2) スノーシューで冬の里山観察 (平成29年2月下旬)
- (3) バードウォッチング (平成29年4月下旬)
- (4) ツリークライミング (平成29年5月中旬)
- (5) 川遊び (平成29年8月上旬)

公5. 情報誌やホームページを通して、自然保護・保全に関する情報を伝え、自然保護・保全啓発に資する事業

- (1) 自然保護・保全に関する情報を伝えるために、情報誌を年6回隔月に発行する。発行月は11月、1月、3月、5月、7月、9月とする。
- (2) ホームページの新着情報を更新し、情報提供に努める。

公6. 里山保全の必要性と活用法を広く伝えるために、モデルとなる里山を整備し、里山体験の機会を広げる事業

(1) 朝日城の森及び周辺地の動植物調査と朝日城の森の整備活動を継続する

- ・ 森林体験施設・フィールドとしての安全性や利便性を高め、魅力ある場づくりに努める。
- ・ 動植物の現況調査を継続する。
- ・ 管理道路並びに城址の草刈や樹木の剪定等を行う。
- ・ 隣接する山林取得にむけ、地権者と協議を進め、散策路の回遊性や管理上の利便向上につなげる。
- ・ 浅野、粕谷両理事による毎木調査を実施。

(2) 里山保全活動への理解を広げるために、「春の里山に親しむ会」を開催

期 日 平成29年4月22日(土)

場 所 朝日城の森・緑の家

内 容 自然観察などを通して身近な自然に親しみ、里山の自然への理解を深める機会を提供する。

(3) 里山自然教室

里山の自然に対する理解を深めるために、「緑の家」で公開講座を開催する。

- ・ 雪の不思議(平成29年2月上旬)
- ・ 春の草花(平成29年5月中旬)
- ・ 里山の生きものたち(平成29年7月中旬)
- ・ 秋の草花(平成29年9月上旬)

(4) 里山ガイド

実施日 平成28年10月～平成29年9月の間で実施

講 師 NPO法人越の里山倶楽部に委託

内 容 緑の家周辺来訪者の希望者に緑の家周辺の自然をガイドする。

II その他

1. 個人寄付金について租税特別措置法に基づく国税(所得税)税額控除に係る証明書を発行する

2. 土地取得のための積立

朝日城の森近接地並びに野生動植物の生息環境として重要な里山や水辺などの土地取得のための積立を引き続き行う。

3. 基本財産の組替え

資産改良を目的に、朝日酒造の株券購入を検討する。